

2008 年度

科目名 日本文学概論	対象学科・学年 教育教福 1 回生	担当者 東 典幸
授業テーマ 文学を知る。		
授業の概要と目標 普通は日本文学概論という、文学の定義や文芸用語の解説から始めます。しかし、この授業の目的は、作品を読む、ということ、読んで考える、ということ。そして、言葉の扱いを知ること。皆さんにはまずそれが必要な基礎作業だと思います。そのため、ときどき日本文学以外の作品も扱うことになるでしょう。		
評価方法 毎回、授業内容を題材にしてレポートを授業時間内に提出してもらう。		
テキスト プリントを配布。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 前後期で担当者が異なるので、もう一人の担当者のシラバスも見ること。 1. 「動物の謝肉祭」。音のイメージ、言葉の連想。 2. 森鷗外、石原吉郎 「かちかち山」をめぐるⅠ 3. 芥川龍之介、武者小路実篤、倉橋由美子 「かちかち山」をめぐるⅡ 4. 太宰治 「かちかち山」をめぐるⅢ 5. タロットの図像学。 6. ルイスキャロルの言葉あそび。 7. 「青い春」「桜の園」タカラヅカおとこのこ、おんなのこ。 8. 太宰治「走れメロス」。 9. 「まざあぐうす」北原白秋訳と谷川俊太郎訳、イギリスの手遊び。 10. 芥川龍之介「蜘蛛の糸」。オリジナル作品との比較。 11. アンデルセンと宮沢賢治「みにくいアヒルの子」と「よだかの星」 12. ハイアイアイ島の動物。核実験で吹き飛んでしまっ動物たち。理系の言葉。 13. 「新解さんの謎」。辞書にたどよう文学性とイデオロギー。 14. 童謡の詩人Ⅰ、三木露風「あかとんぼ」、谷川俊太郎「鉄腕アトム」。 15. 童謡の詩人Ⅱ、金子みすず。		